

庄内地方への インバウンド誘客を支える交通戦略

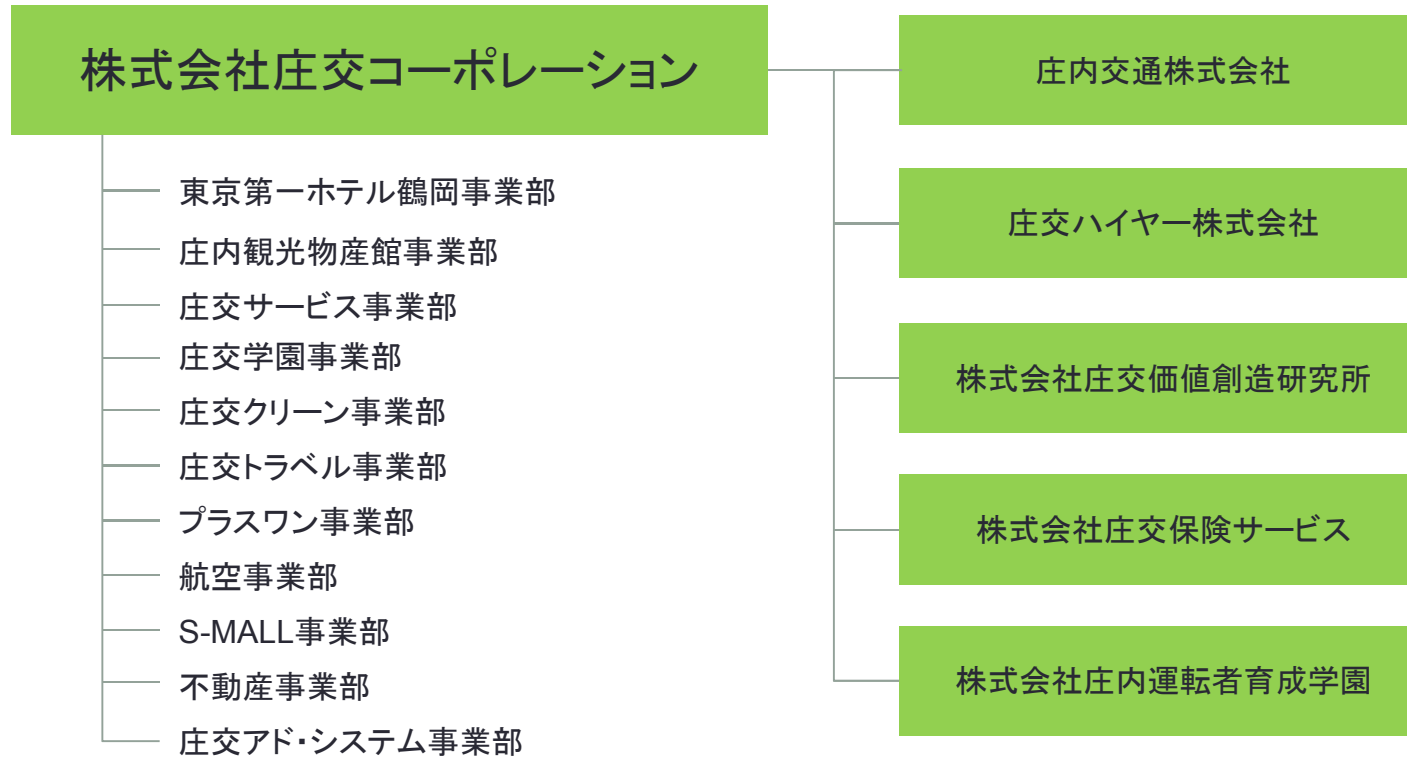
平成29年10月24日

株式会社庄交コーポレーション
代表取締役社長 國井英夫

会社概要

社名	株式会社庄交コーポレーション
本社所在地	山形県鶴岡市錦町2番60号
創立	1979年（昭和54年）12月12日
資本金	2億7,000万円
従業員数	1,008名 グループ連結

2017年4月1日現在



庄内交通株式会社

- ・ 鶴岡営業所
- ・ 酒田営業所
- ・ 温海営業所
- ・ 平田営業所
- ・ 仙台営業所

乗合旅客自動車運送事業
貸切旅客自動車運送事業
旅行業
自動車道事業(湯殿山・羽黒山有料道路)



庄交ハイヤー株式会社

一般乗用旅客自動車運送業
貸切乗用旅客自動車運送業

株式会社庄交価値創造研究所

地域の観光資源および価値創造に関する調査研究
地域の観光資源および価値創造に関する情報の提供、セミナー等
地域経済活性化に資する調査研究
庄内地方の観光情報の提供
前各号に付帯または関連する一切の事業



株式会社庄内運転者育成学園

プロ運転者育成のための職業訓練校

株式会社庄交コーポレーション
庄交トラベル事業部

鶴岡営業所 / 酒田営業所 / 藤島営業所
 東京営業部 / 大阪営業部 / 仙台営業所
 ANA庄交プラザ鶴岡 / ANA庄交プラザ酒田

全日空庄内地区総代理店
 国内・海外の旅行業
 損害保険業
 路線バスの定期券・回数券の販売
 高速バスの予約・発券
 全日空、日本航空各代理店
 JR東日本提携旅行会社



株式会社庄交コーポレーション
航空事業部

全日空庄内地区総代理店

庄内空港ハンドリング業務
 旅客取扱業務
 貨物郵便取扱業務
 搭載取卸業務
 航空機清掃業務
 整備補助業務
 運行支援業務

株式会社庄交コーポレーション
東京第一ホテル鶴岡事業部

ホテル業
総合結婚式場
飲食店の経営
不動産賃貸業



株式会社庄交コーポレーション
庄内観光物産館事業部

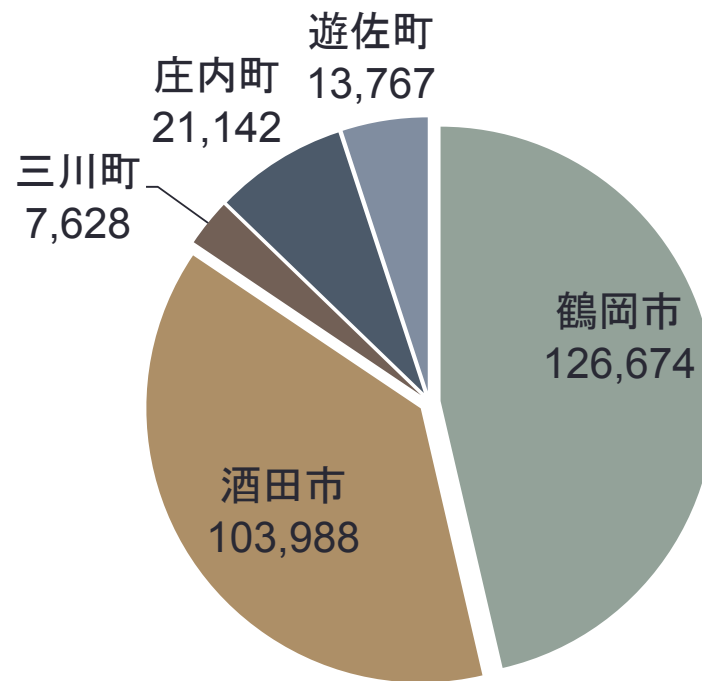
庄内観光物産館 ふるさと本舗
羽黒山レストハウス / 湯殿山レストハウス
月山レストハウス / S-MALL「庄内っ娘」

山形県内の特産品・観光土産品の販売
鮮魚・海産物等の販売
酒類・米穀類の販売
食料品・ギフト用品の販売
山形県内の特産品等の通信販売
団体食堂・一般食堂等の経営
観光宣伝及び観光情報の提供

庄内地方の人口

273,199人

平成29年8月1日
山形県企画振興部統計企画課



庄内交通株式会社 車両数及び路線数

	平成29年3月末		平成29年10月	
	路線数	車両数	路線数	車両数
乗合バス	45	74	47	75
高速バス	4	23	7	28
貸切バス		43		41
合計	49	140	54	144

1. 二次交通対策

(1) 乗合バスの在り方

鶴岡市と地域公共交通形勢網形成計画を
基にプロジェクト開始

① 路線マップの作成

わかりやすさ、使いやすさのPR

- 路線番号表示
バス方向幕、バスマップ
- バス停留所標識200基のリニューアル
ローマ字表記



1. 二次交通対策 (1)乗合バスの在り方

②乗り方教室の開催(モビリティマネジメント)

平成27年4月から21回開催



1. 二次交通対策 (1)乗合バスの在り方

③幹線・支線の階層化(持続可能な公共交通)

「つるおか1日乗り放題券」9月23日より販売開始

つるおか1日乗り放題券

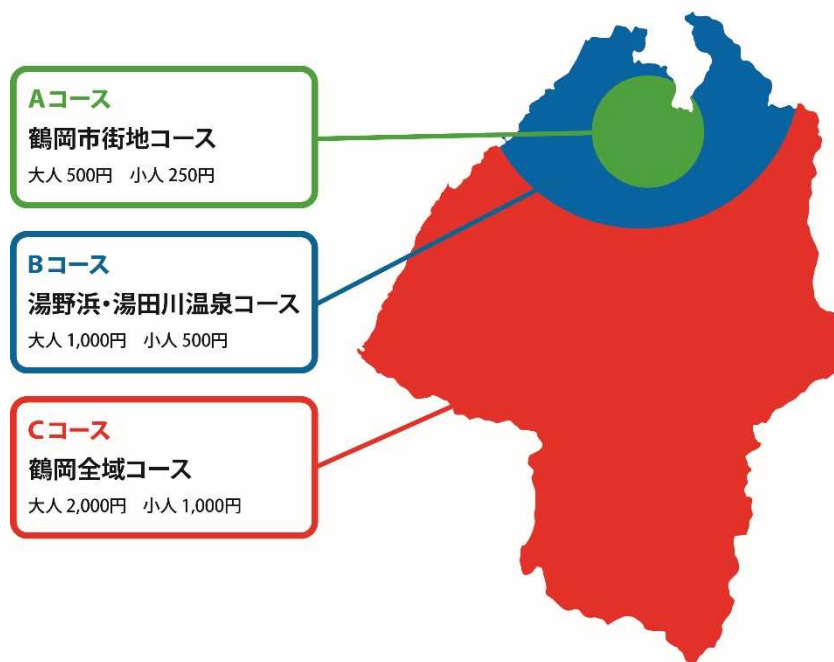
A 市街地コース	B 湯野浜・湯田川コース	C 鶴岡全域コース
大人500円 小人250円	大人1000円 小人500円	大人2000円 小人1000円

年: 2017 2018 2019

月: 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12

日: 1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12
13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30 31

【乗車日】乗車する『年・月・日』を各1つ黒色油性マジックで塗りつぶして、降車時ご提示ください。
※2つ以上塗りつぶした場合、この券は無効です。



1. 二次交通対策 (1)乗合バスの在り方

④鶴岡市内3ヶ所を整備し拠点化(持続可能な公共交通の実現)

当社は「エスモールバスターミナル」と「庄内観光物産館」を整備。

鶴岡市は官庁街を整備。

庄内観光物産館



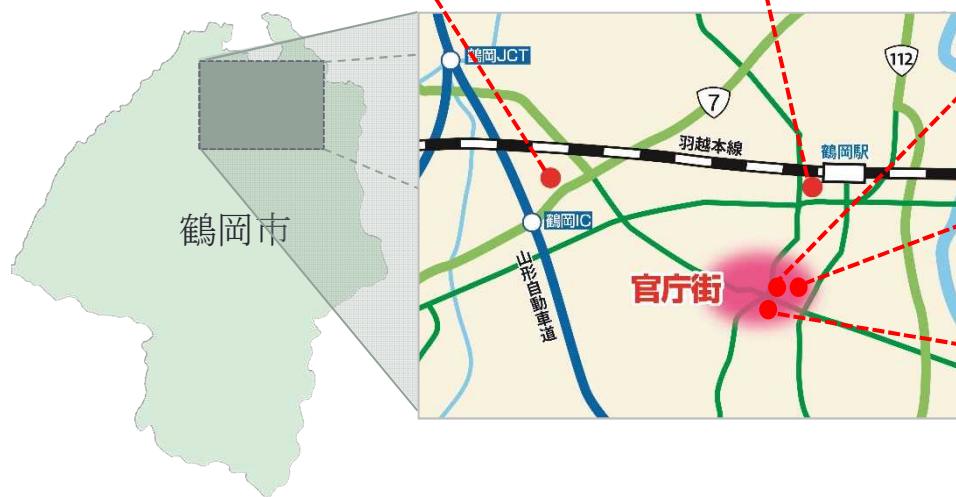
エスモールバスターミナル



鶴岡市役所



荘内銀行 本店ビル



荘銀タクト鶴岡(鶴岡市文化会館)



1. 二次交通対策 (2)都市間高速バス

(単位:万人)

(2)都市間高速バス

①仙台国際空港民営化に伴う将来予測から
直行便4月1日より運行開始

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
旅客	310	321	335	369	390	410
国内	295	306	313	338	348	362
国際	15	15	22	30	41	48



1. 二次交通対策 (2)都市間高速バス

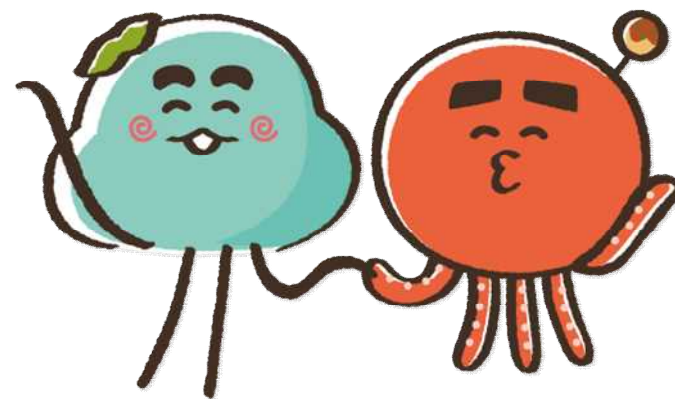
②京都、大阪(関西)とのパイプ復活

鉄道 平成24年4月 青森—大阪 JR寝台特急「日本海」運行終了

空路 平成21年4月 庄内—大阪国際空港線 廃止

…以降8年間、直通手段なし

- 平成29年4月28日 夜行高速バス「酒田・鶴岡 ⇄ 京都・大阪・USJ線」運行開始！
庄内交通株式会社と南海バス株式会社の協同運行



クラ田せんばい

タコ井せんばい

庄交グループオリジナルキャラクター
商標登録出願済

1. 二次交通対策 (3)貸切バスについて

(3) 貸切バスについて

- 乗務員不足のため車両台数を補完
- 庄内地域の貸切バス会社6社と協調路線へ変更
酒田港へのクルーズ船寄港対応など



コスタネオロマンチカ号 平成29年8月2日 初寄港

1. 二次交通対策 (4)乗務員の長期安定確保への取り組み

(4)乗務員の長期安定確保への取り組み

自動車運送事業における労働力不足

我が国の成長戦略のボトルネックとなる問題

労働者の多くは中高年層であり、若年層・女性が少ない



「株式会社庄内運転者育成学園」を設立

運転手を育成する認定職業訓練校。東北では第1号、全国でも2校目。

平成29年4月3日	会社設立 鶴岡市・酒田市・庄内のバス関連会社7社が出資
5月30日	職業能力開発促進法の規定に基づく職業訓練実施校として 山形県知事より認定
6月1日	訓練生の受け入れ開始

1. 二次交通対策 (4)乗務員の長期安定確保への取り組み

プロの運転者に相応しい
技術、知識、マナー等の訓練を通じ
運転者を持続的に確保



2. インバウンド推進に向けてシンクタンクの立ち上げ

今後の人口減少により国内観光需要はますます減少と予測される

インバウンドの推進は

地域観光収入の増加
雇用の創出
地域経済の活性化



地方創生の軸となる
地域発展に大きく寄与

一方、旅行者の旅のスタイルやパターンは年々変化

団体旅行から個人旅行へとシフトする傾向

有名観光地以外の地域を巡りたい

地域の生活や文化を体験し、住民との交流を楽しみたい ▶ 「滞在交流型観光」

2. インバウンド推進に向けてシンクタンクの立ち上げ

株式会社庄交価値創造研究所を設立

①設立目的

- 国内外の観光客を対象とした滞在型観光を推進
- 庄内の地域観光資源を再発見し、価値創造に向けた調査研究を行う
- 教育普及等の諸活動を実施

②メンバー

庄内地域の観光、食文化、歴史などの有識者を理事、アドバイザーに迎える



庄内の地域観光資源を再発見し
発展をリードする

平成28年12月1日	会社設立
12月7日	第1回理事会を開催
	月2回のペースで理事会を開催



3. 老朽化した主要施設のリニューアルに向けた取り組み

国土交通大臣より全国初で認定を受け

民間誘導施設等整備事業計画を活用した大規模改修の実施

➤ 売却対象の3施設



エスマール及びバスターミナル



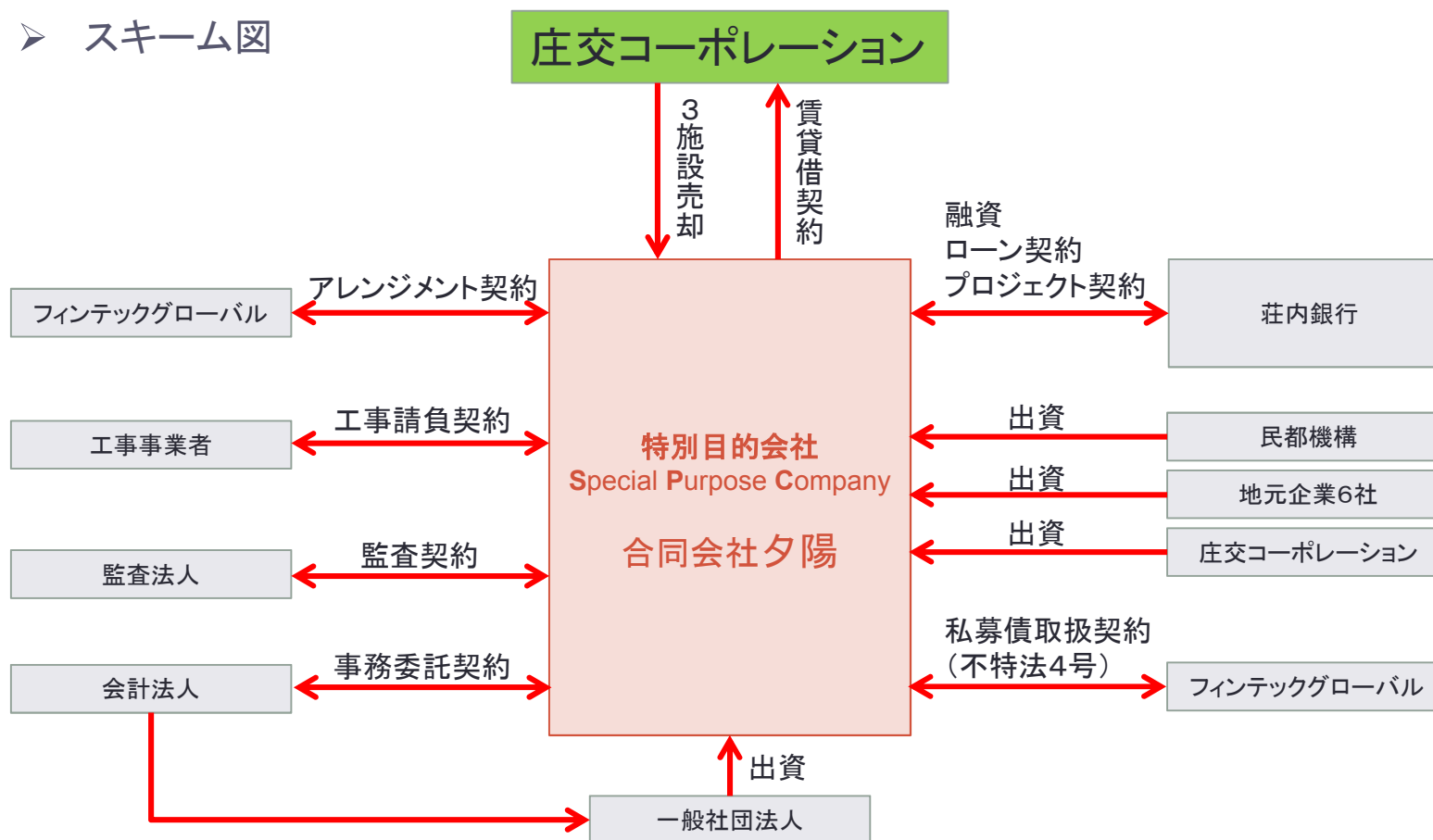
東京第一ホテル鶴岡



プラスワンつるおか

3. 老朽化した主要施設のリニューアルに向けた取り組み

➤ スキーム図



4. エスモールバスターミナル整備の狙い (1)利用者目線での改修

4. エスモールバスターミナル整備の狙い

(1)利用者目線での改修

- ①個別にあったバスチケット・トラベルカウンターのオペレーションエリアを併設
(インバウンド客にも対応)
- ②施設内サインの多言語化(英語、中国語、韓国語)、アナウンスの英語対応



(2) 乗合バス事業の活性化

① 隣接したショッピングモールが活性化傾向

エスモール(ショッピングモール)に併設したバスターミナルが整備されたことにより、モールが活性化傾向にある(東急ハンズトラックマーケットなど有名店舗の出店)



4. エスモールバスターミナル整備の狙い (2)乗合バス事業の活性化

②深夜・早朝へも対応

隣接の東京第一ホテル鶴岡には通路で往来可能で、ホテル10階は天然温泉となっており、ホテルレストランでの朝食セットが人気(高速バス利用のインバウンドの取り込み)



4. エスモールバスターミナル整備の狙い (2)乗合バス事業の活性化

③生活路線と観光路線を識別した路線の見直しを検討(一部実施済み)

日本遺産である出羽三山(羽黒山・湯殿山)地区への直行バスを5月より運行



5. 三つの日本遺産認定を受けた地域である酒田・鶴岡へのインバウンド誘客は庄内地方の活性化に寄与する

(1) バス事業・ハイヤー事業との緊密な連携を目指す

- ① 団体観光・個人観光への対応
- ② パーク&バスライド(エスマール・庄内観光物産館)



(2) モビリティミックスを意識した街づくりの担い手として活動

- ①ハイヤー事業は深夜営業を原則廃止し、昼間の観光事業に特化する戦略を打つ
- ②空港(庄内空港)のオペレーションも担っており、ANAの庄内地区総代理店として地域貢献
- ③乗合バスの小型化(マイクロバス以下)により、市内の路線を見直し女性乗務員の活用を図る
- ④慶応大学先端生命科学研究所(サイエンスパーク)に隣接した当社バス事業及びショッピングモール、ホテル、スポーツジムは新たな市街地を形成し、交通・ショッピングの拠点として存在感を増しつつあり、(現在6社のベンチャー企業が誕生)今後庄内空港連絡バスの経路変更を行う予定(慶応大学先端研究所経由)

5. 三つの日本遺産認定による活性化

(3) 酒田市営バス(るんるんバス)の運行受託

- ①酒田市は高速バスの始終点
- ②クルーズ船(酒田港)の二次交通対応



(4) バスロケーションシステム・ICカードの導入検討

- ① バスの位置情報を活用し利便性と危機管理への対応
- ② 運賃の不安を無くし旅行客もより簡単に路線バスを利用